

2025/4/21

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(4月14日～4月18日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,428.0	1,432.0	1,416.0	1,423.3	▲26.6
JPY/KRW	9.8876	10.0481	9.8888	10.0000	▲0.074
KOSPI	2,454.28	2,486.37	2,442.72	2,483.42	+50.70

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は関税を巡る報道に上下する展開。週末に米政権が電子製品を相互関税から除外すると発表したことからウォン高推移し、1,428.0ウォンでオープン。その後、半導体に対する品目別の新たな関税が近いうちに発表されるとの報道を嫌気して1,430ウォン台まで上昇するも、上値は限定的だった。翌15日も同様に米関税を巡る懸念が後退したことでウォン高推移となり、一時1,420ウォンの節目を下回る場面も。16日は米大手半導体企業の中国向け輸出に対して米政府の輸出許可が必要になるとの報道を嫌気して再度1,430ウォン台まで上昇。しかし、週末にかけては各国と米国の関税交渉が進展するとの期待から過度な警戒感が後退。17日のBOK会合では予想通り政策金利の維持が決定され、委員全員が今後3か月以内での利下げ見通しを示したものの、値動きは限定的だった。結局、ドル/ウォンは1,420ウォン前後での推移が続き、前週末比▲26.6ウォンの1,423.3ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは揉み合い推移か。先週の為替相場は関税を巡る報道に上下するも、概ね米国との貿易交渉が進展するとの期待感から値幅は限定的。また、トランプ大統領がFRB議長の解任を画策しているとの報道が嫌気されドルが弱含む場面も見られた。今週についても、特段重要指標の発表が無い中で米政権の動向が注視される展開となろう。ドル/ウォンは1,420ウォン台前後での揉み合い推移を想定する。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1410 ~ 1440	9.85 ~ 10.15	141.5 ~ 144.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 22日(火) 欧 4月 消費者信頼感指数 速報値
- 23日(水) 米 4月 製造業PMI 速報値
- 欧 4月 製造業PMI 速報値
- 欧 4月 サービス業PMI 速報値
- 米 4月 サービス業PMI 速報値
- 米 3月 新築住宅販売件数
- 24日(木) 米 4月 失業保険新規申請者数
- 米 3月 耐久財受注 速報値
- 米 3月 中古住宅販売件数
- 韓 1Q GDP 一次速報
- 25日(金) 米 4月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 日 4月 東京都区内CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。